Fast SWII-8P

8 Ports 100M/10M Switching HUB

取扱説明書

この度は、corega FastSWII-8P をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、10BASE-T/100BASE-TX オートネゴシエーションポートを８ポート装備したファーストイーサネット・スイッチです。
本製品の使用により、既存のイーサネットLANシステムにおけるアプリケーションやネットワークソフトウェアの変更を必要とせずに、簡単にパフォーマンスを向上させることができます。
本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、お読みになった後も大切に保管してください。

特長

- □ 1,000 個の MAC アドレスエントリー数をサポート
- □ オートネゴシエーション機能をサポート
- □ フローコントロール(Half Duplex 時＝バックプレッシャ機能、Full Duplex 時＝ IEEE802.3x)をサポート

Full Duplex時のフローコントロールは、接続先の機器もフローコントロール(IEEE802.3x)をサポートしている場合に機能します。

- □ カスケードポートを１ポート装備
- □ ポートごとの通信状況が一目でわかる LED を装備
- □ 設置に場所をとらない小型サイズ
- □ ウォールマウントキットで垂直面への設置可能

梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかを確認してください。

- □ corega FastSWII-8P 本体(１台)
- □ AC アダプター
- □ ゴム足(粘着タイプ・４個)
- □ ウォールマウント用タッピングスクリュー(２個)
- □ ウォールマウント用プラスチックアンカー(２個)
- □ シリアル番号シール
- □ 取扱説明書(本書)

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。
再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

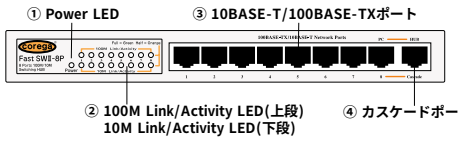
各部の名称と機能

① Power LED(緑)
電源が正しく供給されているときに点灯します。

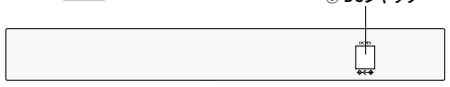
② 100M Link/Activity LED(上段)
10M Link/Activity LED(下段)
２つの接続機器間のリンクが確立し、相互に通信が可能な状態であるときに点灯します。また、パケットの送受信が正常に行われているときに点滅します。
該当ポートの通信速度が100Mbpsの場合は、上段の100M Link/Activity LEDが点灯または点滅します。10Mbpsの場合は、下段の 10M Link/Activity LED が点灯または点滅します。
通信モードが Full Duplexの場合は、LEDの色が緑に、Half Duplex の場合は橙になります。
リンクが確立していない時は消灯します。

カスケードポート(= HUB ポート)の 100M Link/Activity LED、10M Link/Activity LEDは、ポート８(X PCポート)と共用になっています。

前面



背面



底面

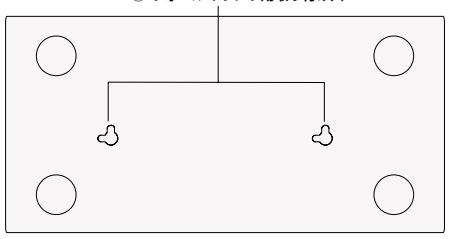


図１　外観図

③ 10BASE-T/100BASE-TX ポート
10BASE-T/100BASE-TXのUTPケーブルを接続するためのコネクタです。
このポートは、オートネゴシエーションによって通信速度(100Mbps/10Mbps)と通信モード(Full Duplex/Half Duplex)を自動検出し、最適な状態で接続します。

ポート８(X PCポート)は、カスケードポート(= HUBポート)と共用のため、カスケードポート(= HUB ポート)と同時に使用することはできません。

④ カスケードポート(= HUB ポート)
10BASE-T/100BASE-TXのUTPケーブルを接続するためのコネクタで、他のリピータやスイッチと接続する場合に使用するカスケード接続専用ポートです。
このポートは、オートネゴシエーションによって通信速度(100Mbps/10Mbps)と通信モード(Full Duplex/Half Duplex)を自動検出し、最適な状態で接続します。

このポートは、10BASE-T/100BASE-TXポートのポート８(X PCポート)と共用のため、ポート８(X PCポート)と同時に使用することはできません。

⑤ DC ジャック
AC アダプターの DC プラグを接続するためのコネクタです。

⑥ ウォールマウント用取り付け穴
同梱のウォールマウントキットを使用して、壁面に設置するための取り付け穴です。

設置のしかた

■ 設置場所
本製品を設置する場所については、次の点にご注意ください。

- □ ACアダプターのコードや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような配置はさけてください。
- □ 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- □ 振動の多い場所や、不安定な場所に設置しないでください。
- □ 充分な換気ができるように、本体上面、および側面をふさがないように設置してください。
- □ テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。
- □ 指定された電源電圧(AC100V)以外で使用しないでください。
- □ 本製品を、本製品または他の機器と重ねて設置しないでください。
- □ 本製品の上にものを置かないでください。
- □ 本製品を他の発熱体のそばに置いたり、重ねたりしないでください。

本製品は熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

■ ゴム足の取り付け
本製品をデスクの上などに設置する場合は、必ず付属のゴム足を取り付けてください。本体を固定し、衝撃を吸収するクッションの役目をします。
本体底面の四隅に○マークがありますので、汚れをよくふき取ってから、その位置にゴム脚を貼り付けてください。また、貼り直しは、粘着力を弱めますのでご注意ください。

付属のウォールマウント用タッピングスクリューを使用し、壁に取り付ける場合は、ゴム脚は取り付けないようにしてください。

■ 壁への取り付け
付属のウォールマウント用タッピングスクリュー(必要な場合は、プラスチックアンカー)を使用すると、本製品を壁などの垂直な面に取り付けることができます。

- □ 石膏ボード、ベニヤなど、中空になっている壁に取り付ける場合は、プラスチックアンカーを併用してください。
- □ 本体とUTPケーブルを合わせ、最大3kg程度の垂直重量が加わりますので、取り付けはしっかりした壁に行ってください。
  手で押しただけでへこんでしまうような壁には取り付けないでください。

1. 次の点を考慮して、設置場所と設置方向を決めてください。
・ ケーブルおよび AC アダプターの接続が可能であること
・ LED の表示が監視可能であること

2. タッピングスクリューを埋め込む位置を決めます。
このとき、タッピングスクリューの間隔が本体底面にある２つの取り付け穴の間隔と同じになるように注意してください。

壁にタッピングスクリューを直接つけることができない場合は、プラスチックアンカーを使用します。プラスチックアンカーは、あらかじめきりやドリルなどで開けておいた穴に挿し込み、かなづちで軽くたたいて壁に埋め込みます。穴はプラスチックアンカーがやっと入る程度の大きさにしてください。穴が大きすぎるとがたつきの原因となります。

3. ネジ頭を 5mm ほど残して、タッピングスクリューを壁(または、プラスチックアンカー)にねじ込みます。

4. 壁から突き出ているネジ頭を本体底面の取り付け穴に差し込むようにして、本体を壁に取り付けます。
ネジ頭がスロットにはまるまで本体をスライドさせ、しっかり固定させてください。

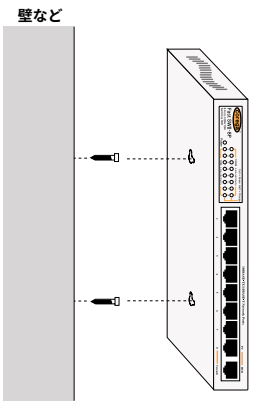
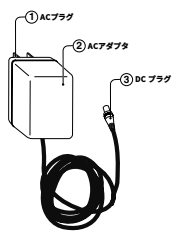


図２　壁などへの取り付け例

接続のしかた

■ ケーブル
すべてのケーブルが機器間を接続するために適切な長さであることを確認します。
本製品と端末を接続するケーブルの長さ、また、本製品とリピータやスイッチを接続するケーブルの長さはすべて**100m**以内にしてください。
また、ケーブルは100BASE-TXの場合は**カテゴリ5**、10BASE-Tの場合は**カテゴリ3以上**のUTPケーブル(ストレートタイプ)を使用してください。

■ 起動と停止
本体背面のDCジャックにDCプラグを接続しておきます。ACアダプターのACプラグをACコンセントに接続すると起動し、はずすと停止します。corega Fast SWII-8P には電源スイッチがありません。ACアダプターのACプラグをACコンセントに接続した時点で電源がONとなりますのでご注意ください。



■ 通信モード
接続先の機器の通信モードは、**表1**の○印の組み合わせになるように設定してください。
IEEE802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない機器と本製品を接続する場合は、接続先の機器の通信モードを Half Duplex に設定します。

		自ポート (corega Fast SWII-8P)
相手ポート	10M Half	○
	10M Full	―
	100M Half	○
	100M Full	―
	オートネゴシエーション	○

表１　通信モードの組み合わせ

■ 接続手順
1. 本体前面の **10BASE-T/100BASE-TX ポート**に UTP ケーブルを接続します。

2. ネットワークに接続する端末に、10BASE-T/100BASE-TXネットワークインターフェイスカードが正しく取り付けられていることを確認して、UTPケーブルのもう一方を端末のネットワークインターフェイスカードに接続します。

3. AC アダプターの DC プラグを本体背面の DC ジャックにさし込みます。AC アダプターの AC プラグを AC コンセントに接続します。

4. 本体前面の **Power LED**(緑)が点灯したことを確認します。UTP ケーブルが正しく接続され、端末の電源が入っていれば、接続したポートの **100M Link/Activity LED または 10M Link/Activity LED** が点灯します。

スタンドアローン

本製品は単純なスタンドアローンの環境で使用することができます。
本製品と端末間の UTP ケーブルの長さは **100m** 以内です。

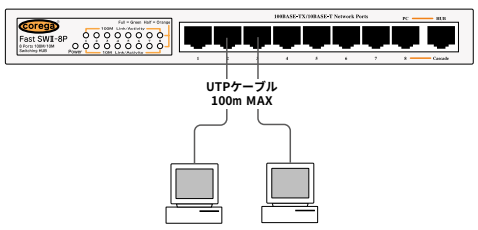


図３　スタンドアローンの接続例

カスケード接続

カスケードポート(= HUBポート)を使用すると、ケーブルをクロスタイプに変更することなく、簡単にカスケード接続を行うことができます。
また、スイッチ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。

本製品とリピータやスイッチを接続する UTP ケーブルの長さは **100m** 以内です。

カスケード接続をする場合は、本体前面のカスケードポート(= HUB ポート)に UTP ケーブル(ストレートタイプ)を接続し、UTP ケーブルのもう一方の端を、接続先の機器の通常の 10BASE-T/100BASE-TX ポートに接続します。

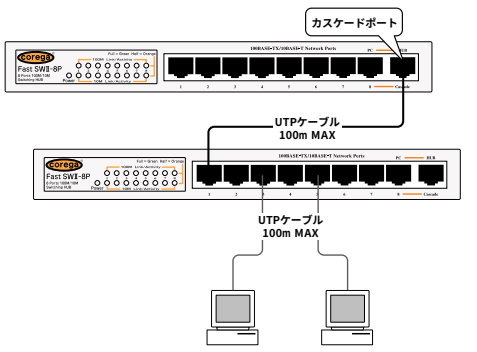


図４　カスケード接続の例

トラブルシューティング

本製品が正しく動作しない場合は、次のことを確認してください。

■ Power LED は点灯していますか？
Power LEDが点灯しない場合は、ACアダプターのコードに断線がないか、AC アダプターのコードが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

■ 100M Link/Activity LED または 10M Link/Activity LED は点灯していますか？
100M Link/Activity LED、10M Link/Activity LED は接続先の機器と正しく接続されているときに点灯します。
点灯しない場合は、次のことを確認してください。

- □ 接続先の機器に電源が入っているかを確認してください。
  また、端末に取り付けられているネットワークインターフェイスカードに障害がないか、ネットワークインターフェイスカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

- □ UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTPケーブルが断線していないかなどを確認してください。
  また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。
  本製品と端末を接続するケーブルの長さ、本製品とリピータやスイッチを接続するケーブルの長さはすべて**100m**以内です。

- □ 接続先の機器の通信モードを確認してください。
  本製品の **10BASE-T/100BASE-TX ポート(カスケードポートを含む)**は、オートネゴシエーション機能をサポートしています。
  IEEE802.3u 規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先の機器の通信モードを Half Duplex に設定してください。

- □ 本製品の**カスケードポート**を確認してください。
  本製品の**カスケードポート**(= HUBポート)を使用して、リピータやスイッチとカスケード接続する場合は、本製品のカスケードポートと他のリピータやスイッチの通常の 10BASE-T/100BASE-TX ポートを UTP ケーブル(ストレートタイプ)で接続してください。

- □ リピータを接続している場合、リピータの数が制限を越えていないか確認してください。
  10Mbps 接続の場合、本製品にカスケードできるリピータの数は４段までとなります。
  100Mbps 接続の場合、本製品にカスケードできるクラスⅠリピータの数は１段、クラスⅡリピータの数は２段までとなります。

- □ 特定のポートが故障している可能性もあります。
  ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

製品保証書（1 年保証）

この製品保証書は、株式会社コレガが定める製品保証規定(裏面)に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

製 品 名	corega Fast SWII-8P
シリアル番号 (S/N)	
ご購入日	
製品保証に関するお問い合わせ先	**corega サポートセンター** **住所：〒 222-0033 横浜市港北区新横浜 1-19-20** **TEL：045-476-6268　FAX：045-476-6294** 受け付け時間： 10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 月～金(祝・祭日を除く)
販売店様印	

※ 本保証書にお買い上げ販売店の記名及び押印が無い場合は、有償扱いとなりますので予めご了承ください。
※ 製品名、シリアル番号、ご購入日をご記入ください。

PN J613-M6722-00 Rev.C 990928
FN corega Fast SWII-8P Rev.C

製品仕様

□ **サポート規格**
IEEE802.3　IEEE802.3u　IEEE802.3x

□ **スイッチング方式**
ストア＆フォワード

□ **電源部**
定格入力電圧　：AC100 V
入力電圧範囲　：AC95 ～ 105V
定格周波数　：50/60Hz
平均消費電力　：13.6W（最大 14.5W）
平均発熱量　：11.7kcal/h（最大 12.5kcal/h）

□ **環境条件**
保管時温度　：-20 ～ 60℃
保管時湿度　：95% 以下（ただし、結露なきこと）
動作時温度　：0 ～ 40℃
動作時湿度　：80% 以下（ただし、結露なきこと）

□ **外形寸法（突起部含まず）**
：221（W）x 110（D）x 26（H）mm

□ **重量**
：762g（AC アダプター含まず）

□ **MAC アドレスエントリー数**
：1,000 個

□ **アドレス保持時間**
：240 秒

□ **メモリ容量**
：512K bytes

□ **適用規格**
EMI 規格　：VCCI クラス A

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

保証

本書に記載されている「製品保証規定」をお読みください。

corega 製品の情報を知りたいときには

当社のホームページに、最新情報や製品についてのＱ＆Ａなどを掲載しています。どうぞご利用ください。

□ corega のホームページにアクセスして下さい！
http://www.corega.co.jp

□ corega Net-News を購読しませんか？
http://www.corega.co.jp/inter/news/news.htm
corega Net-News は、コレガ社がお届けするメール配信サービスです。

ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、右の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号までFAXしてください。
できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAXによって詳細な情報を送付いただくほうが、電話による問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。
記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入のお願い」をご覧ください。

Tel:　045-476-6268
月～金（祝・祭日を除く）
10:00-12:00、13:00-17:00
Fax:　045-476-6294
年中無休 24 時間

調査依頼書のご記入のお願い

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。
障害を解決するためにも次の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

使用しているハードウエアについて

* 製品名、製品のシリアル番号（S/N）、製品リビジョンコード（Rev）を調査依頼書に記入してください。
製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品の底面に貼付されているバーコードシールに記入されています。
（例）S/N 000770000002346 Rev AA

お問い合わせ内容について

* どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に（再現できるように）記入してください。
* エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

ネットワーク構成について

* ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
* 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

おことわり

・ 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。
弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・ 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright ©1999　株式会社コレガ

商標

corega は、株式会社コレガの登録商標です。
イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

調査依頼書（corega Fast SWII-8P）

年　月　日

一般事項

1. 御社名：　　フリガナ：
部署名：　　ご担当者：
ご連絡先住所：〒

TEL：（　　）　　FAX：（　　）
2. 購入先：　　購入年月日：
購入先担当者：　　購入先（TEL）：（　　）

ハードウエアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウエア機種（製品名）、シリアル番号、リビジョン

製品名： corega Fast SWII-8P

S/N＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ Rev＿＿

2. お問い合わせ内容　　□別紙あり　□別紙なし

□設置中に起こっている障害　□設置後、運用中に起こっている障害

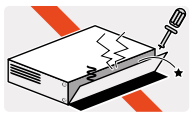
3. ネットワーク構成図　　□別紙あり　□別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

安全のために　必ずお守りください

警告　下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により、**死亡や大けが**の原因となります。

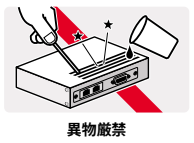
分解や改造をしない
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。


分解禁止

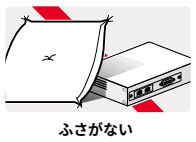
雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。

雷のときはさわらない

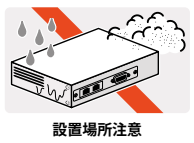
異物は入れない　水は禁物
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。


異物厳禁

通風口はふさがない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。


ふさがない

湿気やほこりの多いところ　油煙や湯気のあたる場所には置かない
火災や感電の原因となります。


設置場所注意

交流 100V の電源でお使いください
異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

電圧注意

付属の AC アダプター以外で使用しない
火災や感電の原因となります。
必ず、付属のACアダプターを使用してください。

付属品を使え

AC アダプターのコードを傷つけない
火災や感電の原因となります。

傷つけない

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

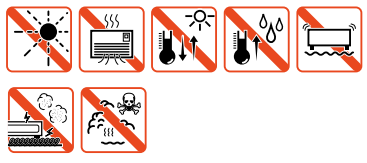
たこ足禁止

設置・移動のときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。

プラグを抜け

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください
・ 直射日光の当たる場所
・ 暖房器具の近くなどの高温になる場所
・ 急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
・ 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の環境でご使用ください）
・ 振動の激しい場所
・ ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
・ 腐食性ガスの発生する場所



取り扱いはていねいに
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で
誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったもので拭き、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

ぬらすな　中性洗剤使用　堅く絞る

お手入れには次のものは使わないでください
石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください）

シンナー類禁止

製品保証規定

■この製品保証規定は、製品保証書に明記した期間内において、取り扱い説明書などにしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず故障が発生した場合に、無償修理をお約束するものです。
・ハードウェア本体　：製品保証書に記載の “ 保証期間 ” で無償保証とします。
（但し、本規定の他の条項に準じます。）
・電源アダプター / 電源ケーブル　：1 年保証
・本体付属品　：3 ヶ月保証
■保証期間内の無償修理は、故障製品を弊社までお送りいただき、修理完了品または代替品をお客様に返送することとします。表面の製品保証書に記載された「製品保証に関するお問い合わせ先」まで故障製品を送付してください。送料はそれぞれ送付元負担とさせていただきます。
■保証期間内であっても次の項目に該当する場合は、無償修理の適用外とさせていただきます。（ただし、無償修理の適用外であっても有料での修理または代替品への交換・サービスはご利用いただけます。）
1. 使用上の誤り、または不当な修理や改造によって生じた故障および損傷
2. お買い上げ後の輸送、移動、落下などによって生じた故障および損傷
3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧などの外部要因によって生じた故障および損傷
4. 接続された他の装置が原因で生じた故障および損傷
5. 車両、船舶などに搭載されたことによって生じた故障および損傷
6. 消耗品の交換（バックアップ電池など）
7. 製品保証書の提示がない場合
8. 製品保証書の所定事項に記入がない場合、または字句を不当に書き換えられた場合

■修理によって交換された代替品、不良部品の所有権は弊社に帰属するものとします。
■製品保証規定は、本製品についてのみ無償修理をお約束するもので、本製品の故障または使用によるその他の損害については、弊社はその責を一切負わないものとします。
■製品保証書は、日本国内のみで有効です。
■製品保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。